

はぴら にくす

No.117 2022.4
ISSN : 0287-8194

目次

マネジメントを学ぶ (椎原 正次)	1
図書館の使い方	2-3
My Libraryとは	4-5
君に薦める一冊の本 (大塚 生子)	6
ライブラリーサポーター紹介	7
図書館からのお知らせ	8



マネジメントを学ぶ

情報科学部
データサイエンス学科 学科長

教授 椎原 正次

『吾輩は猫である。名前はまだ無い。』から始まる有名な夏目漱石の小説を久しぶりに読んだ。何とも言えないユーモラスで心に残る書き出し、そして、さまざまな人間模様を批判的に捉え、それを飼猫の視点で描写するという非常に斬新に思える作品である。ただ、多くの人がこの書き出しを知っているのに対して、吾輩の運命を知る人は意外と少ないことも興味深い。はじめて読んだときは、そんな終わり方があるのかという感想を持った。ご存じない方は、結末だけでも図書館で読んでみることをお勧めする。

ところで、この小説をなぜ改めて読もうと思ったのか。近所で出会った猫の振る舞いを眺めていて可愛いと思えたからなのか、それとも単に書店で目を引いたからなのかは思い出せない。しかし、昔読んだ本を再び読んでみたいと常々考えていた。あるテレビドラマが再放送された時に、登場人物に対する印象が以前に観た時とはかなり異なることに気づいたからである。自分の経験によって、ものの見方や登場人物への印象が変化するのであれば、改めて小説を読み直せば新しい発見があるような気がしていたからだ。

小説のみならず物語やドラマを読んだり観たりすることは楽しい。私には、「(誰が) 何を決めてどのような結果になったのか」という情報を得るための大切な機会である。自分の体験や他の人の見聞、

専門書の事例なども重要な情報源である。しかし、本には結末だけでなく状況や経緯が、詳細に記述されているので非常にありがたい。人の意思決定とその結末をできるだけたくさん収集し、自分の中でそれらを解釈して整理し分類することが面白い。常に、このようなことを考えているわけではないが、空いた時間やふとした時間にいろいろと思考する。因果関係について考え続けることで、よいマネジメントもしくは失敗しないマネジメントを実践的に理解できると信じている。

マネジメントという言葉をきくと会社や組織の経営をイメージする人が多いかもしれないが、それだけではない。マネジメントは、『目的が最も良く達成されるように最適な行動を決定すること』と考える方が適切だ。つまり、マネジメントの対象は企業や組織だけではなく、例えば自分自身も含まれる。これからもマネジメントの真理を探究するとともに、できれば高いマネジメントスキルを身に付けたいものである。この世は、さまざまな人々の意思決定の積み重ねでできているのだから。

大学を卒業すると多くの人が企業に就職する。就職活動を始める前に、マネジメントの入門書を読んでもみるのはどうだろうか。簡単なものでよい。企業が必要としている人材像などが述べられているので、きっと役に立つものと確信している。

図書館の使い方

～大宮本館～

大宮キャンパス8号館2～4階と1階の一部が大宮本館です。大宮キャンパス正門に向かって左側の煉瓦の建物が8号館です。8号館3階は1号館の2階と繋がっているので、雨の日も濡れずに移動できます。3階には第一、第二図書室、メインカウンターがあります。第一図書室には主に自然科学や工学、建築系の本が、第二図書室には主に語学や就職に役立つ本、参考図書が所蔵されています。

螺旋階段を降りた2階は学術雑誌室となっており、『新建築』をはじめとした雑誌が所蔵されています。図書館は「皆さんの学びのお手伝いをする場所」です。ぜひ図書館を活用し、充実した学生生活を送ってください。

※図書館を利用する際は、学生証・教職員証が必要です。

8号館入口 →



質問したいときはどうすればいいですか？

3階のメインカウンターへ来てください。開館中は常にスタッフが在席し、皆様のご来館をお待ちしています。4階ラーニング・commons、2階学術雑誌室とAV室にもスタッフがいますので、気軽に声をかけてください。

← 3階メインカウンター



8号館4階のラーニング・commonsには、PCコーナーや自習コーナー、プレゼンテーションルームなどがあり、グループや個人など様々な学習に使えます。また、最大100名が使えるグループ学習エリアでは、プレゼンテーションや成果発表を行えます。

4階ラーニング・commons →



～枚方分館～

枚方キャンパス1号館3階、エレベーターホールを出て左奥にあるのが枚方分館です。入館してすぐ右側にあるカウンターでは、皆さんの利用をお手伝いします。左側は、たくさんの映像作品が視聴できるAVパーク、その横には新聞や専門雑誌、一般雑誌を置いているブラウジングパークがあります。奥に進むと書架が並んでおり、情報科学や工学、語学、歴史や数学、文学作品など様々なジャンルの資料を取り揃えています。またフロアの各所には図書館スタッフが企画した特集展示コーナーもあり、その時話題の本やためになる本を展示しているので、是非手に取ってご覧ください。枚方分館は約7万冊の蔵書と豊かなサービス、明るい空間で皆さんの研究と学生生活を応援します。

※図書館を利用する際は、学生証・教職員証が必要です。

館内の様子 →



質問したいときはどうすればいいですか？

3階のカウンターへ来てください。開館中は常にスタッフが在席しています。4階ラーニング・commonsにもスタッフがいますので、気軽に声をかけてください。

← 3階カウンター



1号館4階のラーニング・commonsでは多様な学習ニーズに対応できます。利用目的によって異なるブースが点在しており、グループ学習や自習は勿論、授業などにも使われています。プロジェクターを使ったプレゼンテーションも可能です。

4階ラーニング・commons →



工大図書館は大宮キャンパス、梅田キャンパス、枚方キャンパスにあります。
貸出・返却など基本的な使い方と設備についてご紹介します。



～梅田分館～

梅田キャンパス 6 階には、メディアテークと名付けられた図書館とラーニング・コモンズがあります。メディアテークとは、色々な情報を提供する施設という意味があります。

専門書を中心に 1 万 5 千冊の図書と約 5 千冊の電子書籍を所蔵しています。梅田分館には自動貸出返却機があり、利用者の皆さんは、自分で貸出や返却、延長処理をすることができます。

また、四季折々の花や緑に囲まれながら屋外でお弁当を食べることができるキャンパスフォレストもあり、リフレッシュ空間として人気のスポットです。皆さんのご来館をお待ちしています。

メディアテーク入口 →



質問したいときはどうすればいいですか？



支援カウンターへ来てください。開館中は常にスタッフが在席しています。図書の貸出・返却、ラーニング・コモンズや LLC (Language Learning Center) の予約なども支援カウンターで受け付けています。

← 支援カウンター

OIT タワー 6 階には吹き抜けになっているラーニング・コモンズがあります。380 インチのプロジェクターを使って、授業や卒研発表・イベントを行うことができます。また、自習やグループ学習で利用することも出来ます。

6 階ラーニング・コモンズ →



その他の施設

大宮本館



8 号館 2 階の AV 室では、DVD や CD 等が視聴できます。静かな環境で勉強できる、自習コーナーも併設しています。

梅田分館



グループ学習できるコミュニケーションブースは、モニターも利用できる人気のブースです。外には花や緑のあるフォレストがあります。

枚方分館



AV パークでは、DVD や・ビデオが視聴できます。自然科学、社会科学など学習用の映像資料も所蔵しています。

図書館紹介動画

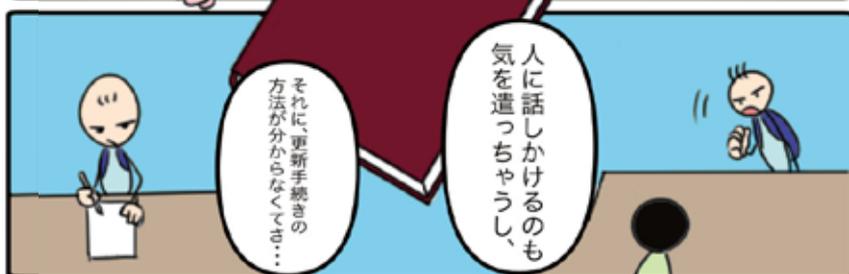
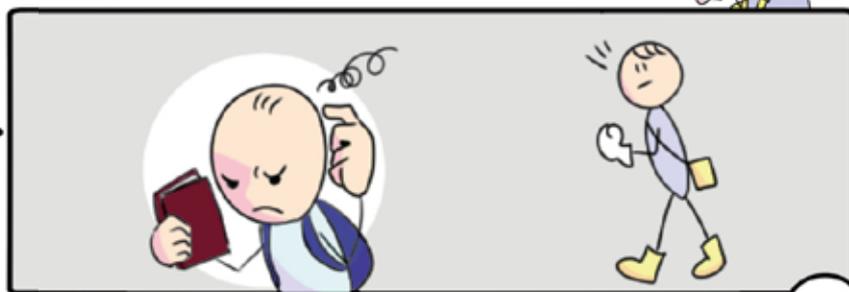
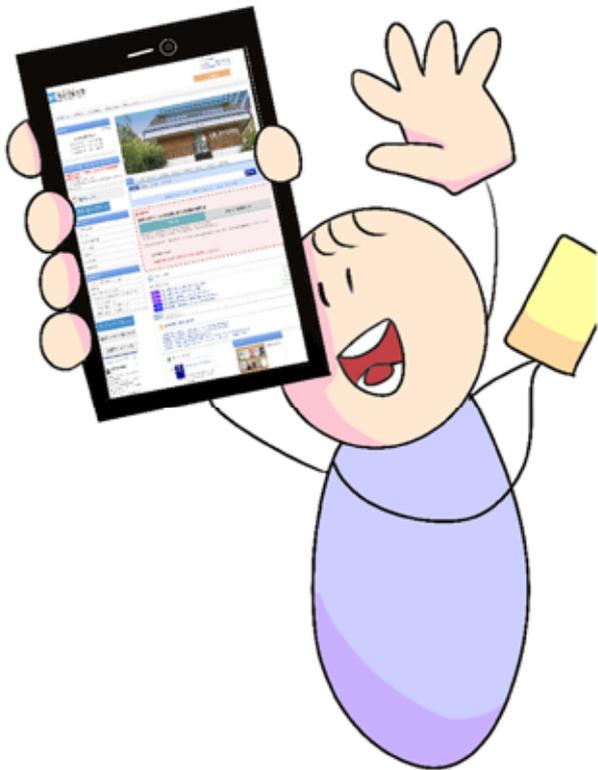
図書館の紹介動画を作成しました。是非、ご覧になってください。お待ちしております！

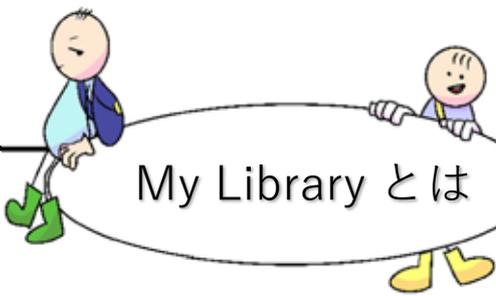


※学内もしくは、学外 VPN からのみアクセスが可能です。

こっちから読み進めていってね!

そんな時には
My Library!!





My Library とは

My Library は皆さんに図書館をより活用していただくためのツールです。大阪工業大学の学生・教職員であればお使いいただけます。利用にあたり、学生は情報センター交付のIDとパスワードが必要です。教職員は図書館でのパスワード申請が必要です。



My Library でできること

●学術情報の横断検索

キーワードを入力するだけで、本学の WebOPAC や国立国会図書館サーチ、CiNii、紀伊國屋書店のサイトから関連情報を横断検索することができます。

●貸出・予約のサービス

- ・貸出中、予約中の図書の確認
- ・返却期日の延長(1回のみ)
- ・図書の予約と予約取消

●相互利用サービス

- ・相互貸借依頼、確認と取消
- ・文献複写依頼、確認と取消

●ラーニング・コモنز予約状況確認

プレゼンテーションルームやプレゼンテーションブース、コミュニケーションブースなどの予約状況を確認することができます。

君に薦める 一冊の本



工学部
総合人間学系教室

講師 大塚 生子

4月—大学ではまた、新しい1年が始まります。

「新しい出会い」「新しい生活」「新しい自分」「夢」「希望」「飛躍」「前進」—そんなポジティブなことばがたくさん浮かびますね。

そんな素敵な季節の折りも折り、今回私は読後感が決して良いとはいえないジョージ・オーウェル『一九八四年』をおすすめします。

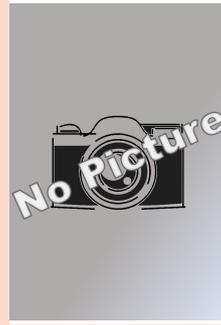
『一九八四年』は1940年台末に書かれた、その名のおとりの1984年のロンドンを舞台にしたディストピア（ユートピアの反対）SF小説です。世界54カ国の著名な作家100人の投票で決められた「史上最高の文学100」などにも選出され、現在でも思想や文学などの分野に大きな影響を与えている近代文学の傑作のひとつだといわれています。

本書は一言でいうと、「ビッグブラザー」というトップを擁する党によって民衆が管理・支配される社会のお話です。街や職場、家庭内のいたるところに「テレスクリーン」と呼ばれる双方向テレビジョンやマイクが仕込まれ、市民の言動は常に監視されています。ビッグブラザーは絶対的存在であり、党が「今日から2+2=5だ」と言えばそれが「真実」とされ、歴史までもが改ざんされます。そんな社会では、天気予報は決してはずれません。簡単なことです。天気予報が外れて今日雨が降ったら、昨日の記録をすべて「雨だと予報した」ことにすれば良いのだから。

このような社会では、民衆に疑問を抱かせないことが肝要です。党がいうことを無条件に信じる人間を作るためには、何が必要だと思いませんか？

この社会では「ニュースピーク」（新語法）が適用されます。たとえば「good」に対して「bad」という表現は不要で、「ungood」で表現できるし、強意も「plus-」や「doubleplus-」という接頭辞をつけて、「非常に良い」

『一九八四年』



【大宮本館】

配置場所 | 工大君に薦める

請求記号 | 080||H

資料ID | 98130210

著者名 |

ジョージ・オーウェル著

訳者 | 高橋和久

出版社 | 早川書房

出版年 | 2009年

なら「plusgood」、「最高に良い」なら「doubleplusgood」と表現できる—このように、語彙の数がどんどん減らされ、人々は反政府的な思想を書き起こす方法を失うのです。人間はことばを通してしか思考できません。ことばを失うことは、思考できなくなることと同義です。

そして、現代の我々にもおそろしく既視感のあるのが、自分で思考しなくなり、党の「正義」を絶対的に信じるようになった人間による、違反者への非難、密告です。体制に疑問を抱き始めた主人公はそんな社会をどのように生きるのでしょうか。

現在の先進諸国には、そんな見えやすい「絶対的権力者」はいません。ですが、「何が正しいか」「どう感じる『べき』か」という、従うべき見えない集団圧力が存在し、違反すると自らを「正義」の代行者と考える輩からバッシングを受け、下手をすると社会的に抹殺される。それを恐れて今度は我々自身がいつの間にかその「正義」に異議を唱えることをやめ、従うことを覚える—これこそ、相互監視社会や無思考の横行といえるでしょう。オーウェルの描いたSFの世界は、もしかしたらそれとわからない形でフィクションではなくなっているのかもしれない。

「2+2=5」には「そんなわけないだろう」と笑えるみなさんですが、大学の「えらい教授」が言ったことにも同じように反発できますか？あるいは「権威ある」ニュースには？新学期は本当に、みんなのいうような「希望に満ちあふれた新しいスタート」ですか？

思考することばを持ちましょう。「当たり前」を疑いましょう。そのために、本をたくさん読みましょう。それができるところこそが、主人公ウィンストン・スミスが願った自由な社会なのです。

ライブラリーサポーター

●ライブラリーサポーターとは

図書館でボランティア活動を行っている学生のことで、スタッフではなく、学生の目線でより良い図書館を作ることを目的としています。活動時間は主に授業の空き時間で、活動状況によりアチーブメントシート（業績証明書）が交付されます。

●どんな活動をしているの？

ライブラリーサポーターの主な活動内容は、書架整理や配架、年3回発行される図書館報「ぱびろにくす」に掲載する200字書評への寄稿、図書館で購入する本を選ぶ選書、選書した本の展示やPOPの作成です。他にもイベントの企画・運営、フリーペーパーの作成、しおりの作成など、各館でいろいろな分野のボランティアを行っています。

2021年度の城北祭期間中に開催した図書館企画展では図書館に所蔵している図書の中から「秋～冬にオススメ!」「身近な人にお勧めしたい本」というテーマで、それぞれおすすめしたい本の書評を書き、2部のリーフレットにまとめ、デザインも考えました。その中から、一部をご紹介します。

ライブラリーサポーター書評

『社会人大学人見知り学部卒業見込』若林正恭 KADOKAWA / 角川文庫

ライブラリーサポーター F

M-1グランプリで準優勝し、大ブレイクを果たしたオードリー。しかし、売れるまでは春日と公園でキャッチボールをする毎日。解散話を何度も切り出したが、解散しなかった理由とは？ラジオ番組で毎朝三十通のメールを送ってくる人物の正体とは？オードリー若林の大人気エッセイ。



所蔵館 大宮本館
配置場所 工大一般図書
資料ID 91170196
請求記号 779.14||W

『かがみの孤城』辻村深月 ポプラ社

ライブラリーサポーター あかねさん

不登校になってしまった中学生の主人公が突然光った鏡の中に入ることで始まる物語。そこで彼女は6人の中学生と“オオカミさま”に出会います。学生や社会人、親御さんなど読む人によって物語の捉え方が変わるはず。ぜひご家族で読んでみてください。



所蔵館 大宮本館
配置場所 工大一般図書
資料ID 91180160
請求記号 913.6||T

『聞く力 心をひらく 35のヒント』阿川佐和子 文藝春秋

ライブラリーサポーター K

今日、急激にリモートが進んだので、「対面で友達と会話がうまく取ることが出来ない…」と悩んでいる学生におすすめです！上手な会話への一歩目は「傾聴力」から、聞き方ひとつで相手からの印象が変わります。是非10月からの対面授業で実践あれ！



所蔵館 大宮本館
配置場所 工大新書A
資料ID 91123335
請求記号 361.454||A

『戦争めし ～命を繋いだ昭和食べ物～』魚乃目三太 秋田書店

ライブラリーサポーター KU

激動の時代でも、食べ物は人の心を救ってきた。有り合わせの材料で作られたうどんや、戦艦『大和』の大和ラムネ、味付けのほとんどなかったじゃがいも。食欲の秋だからこそ見て欲しい、食べ物大切さを学ぶことの出来る1冊。



所蔵館 大宮本館
配置場所 工大一般図書
資料ID 91180729
請求記号 726.1||U

ライブラリーサポーター募集中！

ライブラリーサポーターのメンバーを随時募集しています。

詳しい活動内容を知りたい方や活動に興味のある方は各館の図書館スタッフへお気軽にお尋ね下さい！

また、My Libraryの「サポーター募集フォーム」からも応募可能です。

大宮本館3階 メインカウンター ☎06-6954-4108

梅田分館6階 支援カウンター ☎06-6147-6295

枚方分館3階 カウンター ☎072-866-5312

QRコードはこちら→



図書館からのお知らせ

レポート作成ガイダンスを実施しました！

12月14日(火)と12月17日(金)にレポート作成にはかかせない論文検索に必要な「CiNii Articles」の利用方法について説明しました。大宮本館ラーニング・コモンスでレポート作成ガイダンスを実施し、その様子を梅田分館・枚方分館のラーニング・コモンスで中継配信いたしました。

当日使用した動画と当時によせられた質疑応答はこちらでもご覧いただけます。

QRコードはこちら →



URLはこちら ↓

<https://www.oit.ac.jp/japanese/toshokan/tosho/inside/guidance.html>

※学内もしくは、学外VPNのみアクセス可能です。



基礎がわかる！
レポート作成ガイダンス

開催場所 大宮本館 8号館図書館4階
ラーニング・コモンス ブースA・B

日時 12月14日(火)15:30~
12月17日(金)17:20~

問い合わせ 図書館総務課 図書サービスセンター
TEL: 06-6954-4108

下記の場所にて中継開催も行います

場所 梅田分館 6階 ラーニング・コモンス	場所 枚方分館 4階 ラーニング・コモンス
日時 12月14日(火)15:30~ 12月17日(金)17:20~	日時 12月14日(火)15:30~

論文強化週間を実施しました！

大宮本館は1月11日(火)~14日(金)、梅田・枚方分館は1月11日(火)~15日(土)受講者の都合にあわせて、30分程度で論文検索のレクチャーを行いました。レクチャーの内容はレポート作成ガイダンスと同様に「CiNii Articles」を取り上げました。

※4月からはCiNii Researchになります。

図書館主催
論文検索強化週間

レポート作成にかかせない論文検索について
希望日時にマンツーマンでレクチャーします！

大宮 1月11日(火)~1月14日(金)
梅田・枚方 1月11日(火)~1月15日(土)
9:00~17:00

お問い合わせ 図書館総務課 図書サービスセンター
TEL: 06-6954-4108

図書館企画展を実施しました！

城北祭の期間にあわせて図書館とライブラリーサポーターの共同企画「おすすめ本」を開催しました。展示期間中は、リーフレット2部の配布とリーフレットの書評の中から図書と一緒に書評10作品を展示しました。



「LIBRARY GUIDE 2022」

「LIBRARY GUIDE 2022」を発行しました！工大図書館の利用方法などについて詳しく書かれた利用案内です。配布は大宮・梅田・枚方各館で行っています。また、図書館HPにも掲載していますのでぜひご覧ください。

QRコードはこちら →



大阪工業大学図書館報「ぱぴろにくす」No.117 (2022.4)
編集発行 大阪工業大学図書館
〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16-1 TEL 06-6954-4108
<http://www.oit.ac.jp/japanese/toshokan/index.html>

FAX 06-6953-9499



図書館公式
Twitter
@OIT_Lib